

Premium Textile Japan2023Spring & Summer 概要

- 展示会名：Premium Textile Japan 2023Spring & Summer
- 会 期：2022年5月25日（水）、26日（木）
- 会 場：東京国際フォーラム ホールE 1（3,000 m²）
- 主 催：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構（JFW）
- 後 援：経済産業省 独立行政法人中小企業基盤整備機構
独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）
一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会、日本繊維輸出組合 日本繊維輸入組合
- 来場者：バイヤー及び招待者限定 [事前登録制]



昨年5月に開催した Premium Textile Japan(PTJ)2022SS は、会期前から東京国際フォーラムや千代田区保健所等とも連携し、様々な感染症対策を施して開催し、多くの熱の籠った商談が繰り広げられた。

今回も万全の感染症対策の準備をして開催を目指しているが、コロナ禍による繊維業界のダメージは大きく、出展者数は2019年時の出展小間数には戻っていない。そんな中でも厳選出展者と招待バイヤーによる「商談の場」であるPTJへの期待は大きい。今回で22回目を迎えるPTJは、今回も『JFW サステナブル・プロジェクト』と、スタート1年を迎える『JFW テキスタイル・オンラインサロン』（JTO）の認知向上を目指して開催する。

■ 出展エントリー数：71件 92.5小間（前年実績：71件 / 94小間）

* 出展者リスト参照

◇ 出展件数／小間数				
	件数	小間数	うち:新規	うち:復活
国内	68	89.5	4件/5小間	2件/2小間
海外	3	3	0	0
合計	71	92.5	6件/7小間	

2023 SPRING SUMMER

Premium Textile
Japan

◇ ゾーン別内訳				
			件数	小間数
A: 織物短繊維(コットン、麻、ウール、複合)			31	38.5
B: 織物長繊維(化合繊、シルク、機能素材、複合)			18	27
C: 染色・後加工、プリント、刺繍・レース、皮革			14	16.5
D: 服飾資材、ニットファブリック、燃糸、パイルファブリック			8	10.5
合計			71	92.5



<新規出展者：4社>

ニッケグループ、Mipox 株式会社、株式会社モエラン スタジオ、レインボーワールド株式会社

□ 関連プログラム

≪ Textile Workshop ～日本の素材を学ぼう～ ≫

JFW では業界人となって間もない（職歴 5 年未満）商品企画従事者を対象に“寺子屋”をイメージした Textile Workshop を実施している。

PTJ 出展者を講師として招き、毎回対象素材を変えたレクチャーを行う事で、日本製素材や産地への認識を深めて貰う事を目的とする。今回はサステナブルをテーマとした 3 回シリーズの最終回として実施します。

- ・ 受講者：アパレル・服飾雑貨メーカー、小売り、デザイナーメゾン等に勤務し、商品企画、素材仕入れに携わる若手社員 ※学生不可

□ 日時：2022 年 5 月 25 日、26 日 10：30－

□ 会場：Textile Workshop 特設コーナー



■ 出展社講師

➤ 5 月 25 日（水）：『廃棄食材を活用したフードテキスタイルについて』

- ・ 講師：豊島株式会社八部七課 / 谷村 佳宏 氏 <Yoshihiro TANIMURA>

【講演内容】

食品を扱うメーカー（ex：カゴメ、猿田彦珈琲）との取組み、廃棄する食材を契約した上で廃棄物（コーヒーを入れた後のコーヒー豆等）を譲り受け、それを基にした染料でテキスタイルを染め上げている自社企画の「フードテキスタイル」について紹介します。一般消費者に認知された食品メーカーと契約を締結することで、定期的に安定した廃棄物の供給を受け入れ、テキスタイルブランドの確立を行っています。



➤ 5 月 26 日（木）：『合成繊維におけるサステナブルと自社の取組みについて』

- ・ 講師：東レ株式会社新流通開拓室 / 横川 美都氏 <Mito YOKOKAWA>

【講演内容】

東レにおける石油を原料としたモノづくりにおけるサステナブルと事業展開と、リサイクル・部分バイオ等を原料として自社ブランドを紹介致します。

